

Trabeculotomy眼外法 とsuture trabeculotomy眼内法との術後成績の検討

本学で実施しております以下の研究についてお知らせいたします。
本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	Trabeculotomy眼外法 とsuture trabeculotomy眼内法との術後成績の検討
倫理審査 受付番号	第3781号
研究期間	2021年 5月倫理審査承認日～2025年 5月31日
研究対象情報の 取得期間	下記の期間に眼科を受診された緑内障の方 2014年 1月 1日～2019年10月31日
研究に用いる 試料・情報	カルテ情報
研究概要	(研究目的、意義)

トラベクトミー（以下LOT）は従来、専用の金属プローブ用いて、強膜フラップ下で施行されてきました。対してスーチャートラベクトミー眼内法（以下SLOT）はLOTと比較し低侵襲であるため、近年多く行われている術式です。当院での術前後の眼圧変化と薬剤スコアなどについて術後経過を解析し、術後成績を比較することでSLOTの有用性を証明し今後の臨床における症例選択に役立てます。

（研究の方法）

2014年1月1日から2019年10月31日の間に当院でLOTまたはSLOTを施行された方の内、当院にて術後3か月以上の経過観察ができた方の眼圧、薬剤スコア、合併症、患者背景（年齢、性別、緑内障病型、水晶体の状態、白内障同時手術の有無、線維柱帯切開範囲など）について術前後で比較し、術後成績を後ろ向きに検討します。

（個人情報の取り扱い）

本研究では、世界医師会による「ヘルシンキ宣言」及び厚生労働省「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を遵守します。対象者のプライバシーを守るために、得られた情報は番号を割り当て、匿名化（特定の個人を識別可）いたします。研究会や学会等で発表または出版する場合は、研究対象者個人が特定されるような情報は使用しません。対象者の選定については、兵庫医科大学倫理審査委員会の審査を経て、その承諾事項を遵守します。また、本研究は診療録を利用した後ろ向き研究であり、すべての研究対象者から同意を得ることは困難であるため、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針に基づき、研究対象者から個別の同意取得は行いません。兵庫医科大学眼科学教室および兵庫医科大学病院ホームページに研究に関する情報を公開することで、研究対象者になることに拒否できる機会を保障します。

**本研究に関する
連絡先**

兵庫医科大学病院 眼科
五味 文 （研究責任者）
田片 将士（研究担当者）

TEL | （平日 9：00～17：00） 0798-45-6462
（上記時間外） 0798-45-6111